

Rotary



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／牛山幸一
- 副会長／梅垣和彦・林広一郎
- 幹事／中嶋孝一
- R 情報(会報)委員長／濱 毅

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939  
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2768 回例会 2016 年（平成 28 年）9 月 27 日(火)

点 鐘：牛山幸一 司 会：平沢清文  
斉 唱：我等の生業 ラッキーNo：NO. 26 瀬戸雅三  
ビジター：井出 秀様(地区副幹事)・藤林豊明様(横浜鶴見北 RC)・藤田恭一様(みゆき野飯山)

### 会長挨拶

今、毎日 東京豊洲市場の問題がニュース等で報じられています。謎の空間とか、地下の水の中にシアンとか、ヒ素が含まれているとか大々的に報道されています。

私も、いくつもの建築に携わってきた中で、大規模な建物においては地下ピットがあるのは当然の事と受け止めていたので、なぜそんな報道がされるのか不思議に思っていました。問題はピットの位置が地上にあるべきものが地下にあり、盛り土がなされていない事が問題でした。マスメディアの人達も問題をあおる報道ではなく、きちんと報道するべきではないかと思いました。

私は、今なぜ盛土から地下ピットに変更になったか、そこには必ず専門の建築士等がいると思います。今なぜ、その人は盛土から地下ピットに変更した理由を述べないのか、盛土にした場合、この様な問題が発生します、ですから、私は地下ピットに変更しましたと、堂々と議論しないのか不思議でなりません。また、ヒ素が検出されたとか、シアンが検出されたと騒いでいる人達は、豊洲のまわりの海の水質も一緒に調べるべきだと思います。たぶん、同じ成分が検出されるでしょう。

今回の問題は、情報開示がなされず変更され、誰も責任をとろうとしない事にあると思います。私たちは常に本質を見て冷静に対応すべきだと思います。

### 会長報告

- 24 日に小松正二元会員の葬儀に参列してまいりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

- 次週例会は 10/3(月)3 クラブ合同夜間例会となります。併せてガバナー補佐訪問例会となります。 点鐘：18：30 会場：マリオ



### ガバナー公式訪問

ガバナー挨拶

国際ロータリー第 2600 地区  
ガバナー 原 拓男 様

- RI テーマ「人類に奉仕するロータリー」  
(Rotary Serving Humanity)
- 2600 地区方針及び行動指針  
地区標語 「Basic & New! (原点に戻り新たな改革を)」  
行動指針 「長所を認め合い絆を深めよう」
- 重点事業 (地区プログラム P9)
  - I. 会員増強 (目標) 各グループ純増 10 名、合計 90 名  
この数年 2000 名の会員確保に苦慮している状況は 2600 地区の最大の  
問題点  
会員増強をする為には例えば
    - ①ロータリーが果たした役割を多くの人に知って貰うこと。
    - ②ロータリーとは何か、何に取り組んでいるかをクラブを通じて地域社会に  
情報を広げる。
    - ③クラブの全会員がロータリーへの入会がロータリーの奉仕を通じて地域の  
為、人類の為により良い世界を築く機会である事を認識し増強を計る。
  - II. CLP の運用によるクラブの強化
  - III. 職業奉仕の見える化  
会員が小、中、高の学校で自分の職業に関する話をする  
(ロータリーを知って貰う⇒将来の会員増強)
4. 継続事業
  - I. ロータリー財団への寄付 (ポリオの撲滅を含む)  
今年度はロータリー財団設立 100 周年の記念すべき年です。財団 100 年の  
歴史は、1917 年 6 月 18 日アメリカジョージア州アトランタで開催された第 8  
回年次大会での RI 会長アーチ・クランプの「世界で良い事をする為に基金を作るの  
が適切だと思われる」という言葉から始まりました。  
その後基金に初の寄付 26 ドル 50 セントが寄せられ財団がスタートし、100  
年間に世界中の何千という地域社会に 30 億ドルを提供してきました。100 周年  
はロータリアンや世界中の人々にとって R 財団の人的活動の大きな歴史を振り返

る絶好の機会です。

その歴史の重要な事の一つが2人の日本人ロータリアン山田ツネさんと峰英二さんが提唱したポリオの撲滅です。ポリオは現在アフガニスタンとパキスタンで16例が報告されただけで、本当にあと少しで撲滅できます。

因みに、来年6月10日～14日財団発祥の地アトランタで国際大会が行われますので、当地区からも多く皆様に出席をお願いしたいと思います。ロータリーの友7月号の横読みP44～45に「R財団100周年を祝う」という記事が掲載されていますので一読下さい。

さて、昨年度は財団への寄付は一人150ドル、ポリオ撲滅に500円、平和センターに500円という金額をお願いしていましたが、100年に一度というこの周年を記念して一人150ドルの他ポリオに40ドル、平和センターに10ドル合計200ドルの寄付をお願いします。(実質は4千円ほどの上乗せ)

2016-2017年度ロータリーの目標 (地区プログラムP9参照)

お願いばかりで大変申し上げにくく、又心苦しいのですが、申し上げない訳には行きませんので申し上げます。

1920年10月20日東京RCが設立総会を行い米山梅吉氏が初代会長に就任し、ここから日本のRCの歴史が始まり2020年、東京オリンピックの年に100周年となります。そのため昨年「日本のロータリー100周年委員会」が立ち上げられました。そして今年度が始まる7月1日に東京で第1回ガバナー会議が開催され、議題の一つにこの100周年委員会の予算が上程されました。予算総額は1760万円で内訳は人件費650万円、事務所経費240万円、備品費100万円、三つの委員会費550万円、予備費220万円です。寝耳に水の様なこの件に対し各クラブで既に予算も立てられている事もあり我々ガバナーから多くの反対意見が出されましたが最終的には100周年という周年事業をやらない訳にはいかないだろうという結論に至りました。

その結果、今年度は約88000人の会員に一人200円の拠出をお願いするという事になりました。予算書では納入期限は10月末日となっていました。降って湧いた様なこの件を各クラブにお願いし理解を戴くにはガバナーが公式訪問で直接お願いするしかないという事で納期は来年4月か5月に延期して貰いました。

今更大変心苦しいお願いで恐縮ですが、考えてみれば日本のロータリー100周年を祝う事は我々ロータリアンにとって大きな節目のお祭りのような事であり、公共イメージの向上には絶好の機会ととらえるべきだと思います。会員の皆様には異論もおありかと思いますがご協力を是非宜しくお願い致します。

次に、3年に1度開催される規定審議会がシカゴで開催され当地区からは堀川浩PGが代議員として出席されましたがご承知の通り今回は大きな変革がありました。一部の会員の皆様はロータリーに失望したやの発言もあるとお伺いしましたがこの変革を否定的に捉えるのではなくむしろ自分たちのクラブをより良くする為の自主権が多くなったと肯定的に捉えて欲しいと思っています。

例えば例会に柔軟性を持たせる件についてはクラブフォーラム等で全員で議論し、その決定が自分たちのクラブにとってより良いと思われるならばその方向性を決めるのは各クラブ自身です。

但し今期は既に始まっておりますので、この一年しっかり議論して欲しいと思います。地区研修・協議会でも申し上げた個人的な意見ですが、私は「四つのテスト」の内三番目の「好意と友情を深めるか」を一番大事にしています。毎週例会で友と逢い語り知らない知識を得るのはとても楽しみです。

最後に東京 RC の今年度のテーマは「Enjoy Rotary」です。  
楽しくなければロータリーではありません。皆さんロータリーを楽しみましょう。  
ご清聴ありがとうございました。



## ニコニコボックス

国際ロータリー第 2600 地区副幹事 井出 秀 今日ではよろしくお願ひします。  
藤林豊明 (RID2590 横浜鶴見北 RC) 初めて出席させていただきます。よろしくお願ひ致します。

牛山幸一・梅垣和彦・太田博久・小口 隆・小口泰史・小口裕司・尾関秀雄・上條英雄・北澤洋之介・小山 智・佐伯克己・薩摩 建・佐藤有司・瀬戸雅三・竹村一幸・中畑隆一・中村文明・濱 俊弘・林広一郎・林 裕彦・林 靖高・平沢清文・宮坂晃介・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進・矢島 實・山岸邦太郎・高木克彦 ガバナー原拓男様、ガバナー補佐大澤邦彦様、地区副幹事井出秀様ようこそお越し下さいました。

## 出席報告

会員数 41 名、出席者 33 名、出席率 82.50%、前々回訂正 72.50%